

○フィールドデーコンテストの日程変更 *9月の第三月曜日の前々日の21時～前日の15時まで

10

52

19

コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由
1 JM1FDC	○	8月は暑く、熱中症も心配、私は移動での参加は敬遠していました。				
2 JH1ASG			○	<p>○今までの酷暑でのFDコンテスト準備、設営、運用、撤収を踏まえ、8→9月の変更、開始21時の復帰は大変結構である。</p> <p>○新日程が、歴史と伝統のある、全国規模のコンテストである、XPO記念コンテストと、愛・地球博記念コンテストに悪影響を及ぼすのは、絶対に避けなければならない。確かに、新日程では、FDコンテストを9月コンテストカレンダーに割り込ませるのはできるかも知れない。しかし、FDから間を置かずコンテストでは、XPO、AIコンテストとも、参加局減少が危惧される。</p> <p>今年、仮に新日程で行われるとすれば、敬老の日のXPOと、秋分の日愛・地球博まで、実に4日連続の3連戦となる。また、2021～2022年ならばXPOまでの3日連続となる。</p> <p>調布アマチュア無線クラブでは、FD終了翌日に、借用備品の返却を行っているため、FD終了後、即XPO、AIでは非常に厳しい。</p> <p>・FDコンテストを新日程で開催するのならば、「9月の第四月曜日の前々日」以降で再考願いたい。その際、新日程によるFDコンテストが、既存の実績あるコンテストと、バッティングしないよう、それらの主催団体と協議の上、最大限、配慮いただきたい。</p>		
3 7K1PTO			○	<p>所謂「9月第三土日」は、敬老の日及び春分の日等の祝日と絡み、昨今の法改正により、「前後が祝日である平日は、国民の休日となり、休日となる」規定から、秋のシルバーウィークという期間になり、通常期であれば連休の行楽客等で非常に多くの観光地はじめ所謂アマチュア無線家が移動運用を好んで行う場所と重なる場所、地域などが重なります。また昨今の連休等の渋滞や混雑、また世間一般の公共地域(重なるアマチュア無線の移動先等)での一般行楽客との鉢合わせの増加は一般週末等と比較にならないくらい多くなり、それだけ本コンテストの主目的である「移動運用主体のアマチュア無線運用」の目的に於いて、とても難しい移動先の選定や長時間にわたる運用などを強いられる事が容易に予想されます。また、昨今の世相から想像すると、無用な誤解や意識・考え方の違いなどで、非常に些細な事でも混雑する移動先等ではトラブルに発展する事も予想されます。もっと簡単に言うと、「何も世の中が年に1番又は2番目に混雑する時に、わざわざ移動運用を目的としたアマチュア無線の長時間のコンテストを開催して、昨今に多く発生しがちなトラブルの原因になりかねない、要因の一つを開催しなくとも……」という意見になります。もちろん、ほぼすべての移動運用無線家達は、一般常識をしっかりと持ち、その場のルールや仕来り決まりをしっかりと守り、周囲の方々、環境、一般の方々々に配慮しつつ、迷惑やトラブルにならぬよう万全を期して、フィールドデーコンテストへ参加、運用していると思っております。わずかに1局の良識無い方が居たり、また一般の方々との意見・考え方の違いで、トラブルに発展した場合には、現在ではその及ぼす影響は計り知れず、野外でのアマチュア無線禁止論までに繋がる恐れにも簡単に発展してしまうでしょう。昨今のSNS等による新型コロナ感染等への自警自衛を置き換えて想像すれば、容易に想像できると思います。移動運用が好きで、楽しみながらコンテストや決して嫌な思いをしない方法でフィールドデーコンテストに参加したい。どうすれば、様々なリスクを減らしながらコンテストを開催できるのかを考えると、その選択肢に、今回提示の9月第三土日(＝シルバーウィークと重なる週末)での開催には、残念ながら賛成できません。</p>		<p><提案> 代替案として・・・ 今回の案も活用しつつ「ALL ASIAN DXコンテスト電話部門」も調整をし、 ・「フィールドデーコンテスト」を9月第一土日開催 ※その年のハムフェアが9月第一土日開催になった場合には、フィールドデーコンテストを、8月最終週土日又は9月第二土日へ都度変更で開催。 ・「ALL ASIAN DXコンテスト電話部門」を9月第三土日開催 8月後半又は9月に入れば、根本問題である「熱中症の危険」も、大分緩和されるかと思われますし、コンテスト自体、毎年日にちが決まっているわけではなく、その年の暦や祝日構成などで実際の日にち自体変更されることが多いため(第〇週とは決まっていますが、当たり前ですが実際の日にちは毎年異なりますよね)、臨機応変に前後調整しても良いのではないのでしょうか？毎年1月辺りに、その年のコンテスト日程が決まるかと思いますが、その時には既にハムフェアの日程は決まっていることだし、半年又は数か月前にはその年の開催日がしっかり提示されれば、参加者側としては、予定も立てられますし、混乱もないかと思われます。</p> <p><開催時間に対する意見と提案> 開催時間ですが、実際に山岳移動や移動運用、フィールドデーコンテスト含め各種コンテスト参加の経験から、「日帰りのコンテスト参加移動運用で、15時終了は遅すぎだと思います」実際に、フィールドデーコンテスト以外の固定局メインのコンテストであれば、コンテスト終わりまでフル参加される方々は多く居りますが、移動運用の場合15時の終了し、そこから撤収を想定した場合、全て撤収下山や移動などで落ち着く頃にはもう夕方又は夜に近い状態になり、8月頃の日の入り時間と今回考えている9月(お彼岸)頃だと、既に大きく暗くなっていく時間や気候などが異なります。前回の意見等で、18時開催だと夕食の準備やBBQができないなど意向の、ご見があったかと思われしますが、そもそもコンテスト目的で参加される方は、コンテストに合わせたスケジュールで食事したり、準備したり、休憩をしたりして、万全を期します。また、撤収時の熱中症対策を考慮した上での9月開催への移行ですから、12時等お昼終了でも撤収等で熱中症の心配はぐっと減っているはずで、それより、8月より早く日が暮れ、また移動運用という、アウトドアでの参加を主体として開催している本コンテストでは、明るいうちに全ての準備を整え、暗くなったらスタート、また終わりの日も出ている明るい安全な時間帯に全ての工程を終了できる。という考えの方が、外で参加している者にとっても最も安心できることであり、アウトドアの基本である「明るいうちに、安全に」を最優先した、コンテスト開催時間の検討も併せてお願い申し上げます。</p> <p><希望提案> フィールドデーコンテスト開催時間 ◎フル参加者 : 土曜日19時スタート、翌日曜日13時終了。 ◎モーニング : 日曜日7時スタート、13時終了。</p> <p>以前の21時～翌15時開催時でも、移動運用の方々には撤収なども考えると、大抵12～13時過ぎにはコンテスト参加を止めて、撤収作業に入る光景を沢山見ましたし、私自身もそうでした。15時終了の不都合は先に述べた通りです。またコンテスト自体も、始まりから24時～25時頃を一つのヤマ、ひと休み(仮眠)をし、朝5(～7)時からまたもう一つのヤマ、で参加される方々が非常に多く、それら現実のコンテスト参加者の実際の慣習等も、考慮すると、以上提示の様な開催時間であると、より参加しやすい時間帯になるのではと思ひ提案させて頂きたいとします。</p>
4 JH3IJF			○	未記入		

	コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由
5	JQ1MSQ			<p>下記の理由から、私といたしましては</p> <p>①コンテストとしてのフィールドデーを廃止する</p> <p>②パーティーとしてのフィールドデー(Field day(s), Field Week(s))を設定することとし、効果として、</p> <p>①他のコンテスト、なんらかの移動推奨デーと日程が重複できる</p> <p>②数日～2週間程度実施することで、参加の垣根が低くなる</p> <p>③多様な移動形態、周波数帯、電波型式での参加を促すことが可能になる</p> <p>④複数日設定でJARLの移動推奨日設定による、責任負担性が軽減される(参加者自己責任性が強くなる)</p> <p>が見込めるものと考え、もって、JARLの存在意義に資し及び発展に供することができるものと考えます。</p> <p>(付)</p> <p>(移動運用形態の多様化)</p> <p>昨今の移動運用の形態から考えますと、いわゆる「駅前QRV」など手軽な移動運用の方法が提案され、その一方でSOTAのような山岳登攀を伴うもの、ペディションのような移動運用の方法もあり、移動運用の多様化がみられるかと思えます。それらを包含するような多様性を許すような施策実施とされるよう希望します。</p> <p>(記)</p> <p>(理由概略)</p> <p>9月第3週にあつては、学校行事、地域行事、祭事、秋彼岸等たくさんの行事等があります。また、昨今は「シルバーウィーク」と称され、観光地歓楽地にあつてはゴールデンウィーク並みの喧騒となります。そのためコンテストとしては実施が難しいと考えます。</p> <p>(理由詳細)</p> <p>(1)交通状況の悪さ</p> <p>委員会で提案された日程案で実施するにしても、コンテストに参加するため、伝搬状況のよい場所に移動することを推奨することとなることから、当然のことながら設備運搬等のための移動手段の確保が生じますが、現在でも、この時期の交通状況は大変混雑し、よいものとは言えない状況にあります。</p> <p>(2)業務繁忙期とのかねあい</p> <p>観光業を始め稲作早刈り等収穫を迎える農業など、会員等従事する業種によっては繁忙期に当たり、コンテスト参加どころではないと思われる会員・オペレーターも多いと思料されます。</p> <p>(3)学校行事とのかねあい</p> <p>学校行事(体育祭・文化祭等)等が9月中旬～10月にかけて実施又は準備されており最近、保護者や親族も準備に参加するような学校も見受けられます。そのため、参加が難しくなる会員等が多くなると考えられます。コンテストとして実施するのであれば、学校社団局が参加できる、夏季等の長期休暇中に行うことが理想的であると考えます。</p> <p>(4)彼岸入りのかねあい</p> <p>日程案では、若干ながら、彼岸と重なる例があります。(2024-26,2030-32年)低山等にあつては付近に寺社仏閣霊園等が多数存在することがあり、法要等宗教行事を行っている最中に、移動運用のための設備を構えることができない場合があると考えます。墓参りだけでなく、各家庭で親類縁者等をもてなす習慣が色濃く残る地域があり、彼岸前に準備をする地域があります。こういった地域では、コンテストの参加のために、自宅を離れることが難しい場合が、多々あるかと思えます。</p>			
6	JF4CAD			<p>(1)9月第三週土日は本土に台風が襲来する可能性があり、移動運用を前提としたコンテストを行うには適当とは言えない時期である。</p> <p>(2)Es伝搬が利用できず、21/28MHzなどは事実上使用不能。</p> <p>(3)8月でも初日15時～翌日15時までの中で「参加者が選ぶ12時間以内」といった開催方法もあるのに検討をした形跡がない。</p>	<p>○</p> <p>何度も似たような提案をされていますが、いい加減「日程をいじれば解決する」という考えを捨てて欲しいです。日程だけでなくコンテストの目的・使用バンドなどJARLが主催するコンテスト全体のあり方を全面白紙で見直してはいかがでしょうか？</p>		
7	JE8KKX			<p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテストはラジオスポーツという競技であり、体調管理は参加者の自己責任である。 ・過去の記録との継続性がなくなる。 ・9月後半では夜間は寒冷となり、移動運用には適さない。 			
8	JR4FLW			<p>反対(現状のまま)</p> <p>ハイバンドの国内コンディションは9月より8月の方が良いと思います。現在は固定局でも参加できる規約になっているので、体調に不安のある方は固定での参加として、野外での運用を避けてほしいです。近年この時期が熱く日程を変更したい考えもわかるが、趣味なのであくまで自己責任として参加していただきたい。天候も9月第3週なら台風が心配。現状の方が安定していると思います。</p>			
9	JQ1VDJ			<p>反対します。</p> <p>8月の真夏に行うから良い。熱中症等の体調管理は、参加者の自己責任で行うべきである。9月も中旬過ぎれば高所では、雪も降ることあります。現在の規約では、ホームステーション同士の交信も得点となり有効である。体調的に厳しい人は、無理に移動運用しなくても良いのではないのでしょうか。また、今回の日程変更案では、全市全郡コンテストの日程と近づきすぎ。</p>			
10	JA0BJY			<p>1)JARL News夏号で9月第3週への日程変更が提案されている。これについて、SAC-CWとの競合を懸念する。</p> <p>(2)懸念内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDは出力50W以下となっている。 ・北欧まで電波が行くのは厳しいが、CWでは可能性がある。 ・14MHz以上はxx.050MHz以上がCWのJARLコンテスト周波数なので、競合の度合いは少ない。ただし、JA局のCQIにSAC局が呼んでくるかもしれない。 ・7MHzはコンテスト周波数が重なる。夜間の50W CWは十分北欧まで届きうる。 	<p>○</p> <p>(3)代替案</p> <p>「案1」現状の8月第1週のまま、コンテスト時間を3hずらす。21～15時を、18～12時にする。今回の変更案の理由は、熱中症対策とのことなので、午前で終了すれば、かなり危険性を低減できると考える。</p> <p>「案2」ALL ASIA電話部門を9月第3週にして、FDを9月第1週にする。9月第1週はハムフェアとの競合の可能性があるとのことなので、会場都合で競合した場合は、FDを8月最終週にする。この場合も、コンテスト時間は18～12時がよいと考える。</p>		
11	7L1WQG				<p>○</p> <p>時間の変更をお願いしたい。フィールドデーコンテストでは、U-SHF帯での参加局も多くその運用形態が野外に移動して運用する為に、日曜日のみ運用する局が多くいる。12時までであると、山岳等での運用は殆ど不可能となる。15時までにして欲しい。</p>		
12	7N3OEP	○	<p>理由:酷暑や熱中症を回避できるため。(暑さ寒さも彼岸まで)</p> <p>なお、今後、地球温暖化が加速するなどして9月第三土日の開催でも熱中症の危険が2020年よりも増すようなことがあるならば、再度の日程変更もやむを得ないことと思えます。</p>				

	コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由		
13	JF3EBO				理由 ・9月第一土日にAA DX Ph. 10月第二月曜日の前々日から前日に全市全郡コンテストがおこなわれており、各コンテストが集中し過ぎる。 ・FD変更案の9月第三土日はScandinavian Activity Contest CWが21時から20時59分まで開催されており、CWは影響が出る。 ・9月第三月曜はXPOコンテストが06時から18時まで開催されている。XPOコンテストにも参加する場合、FDから帰ってきた翌日06時から、あるいは移動地からそのまま翌日06時開始となり、連続してしまう。 ・秋分の日の前日21時から翌日12時まではAI(愛・地球博記念)コンテストも開催されている。年によってはAIコンテストと連続することも考えられる。 ・夏休み期間に開催しないと、学校社団局が参加しにくくなる可能性がある。 ・9月第三週土日は、たとえば2021年だと18日/19日となり、札幌市の場合、最高気温22度、最低気温13度程度です。東京のゴールデンウィークと同じぐらいなので、移動運用には問題が無いと言えます。と書かれているが、最低気温13度の野外で運用するのは寒いと考えられる(FDIは夜通し開催されるので、最低気温で考えた)。また、これらの気温は、札幌管区気象台のある標高17.4m地点での値と思われ、標高を考慮していないと推測される。本州での気温を考える場合も、平地での気温を基準に考えるのではなく、2,500mや3,000m級の山へ移動する局への考慮が必要と思われる(気温減率を-0.6°C/100mと考えたと、標高3,000mでは18°C程度は下がる)。 以上の通り、賛成できることが思い浮かばず、FDを9月第三土日に開催するメリットは考えられない。コンテスト委員の間で十分な議論はされたのでしょうか。				
14	JH8UUR	○	私は移動運用でしかアマチュア無線を行う事が出来ない為、変更案だと過ごしやすい気温に成っている時期ですので、大賛成です。只、50MHz帯で参加出来る時期でないのが残念です。						
15	JA1KHV			○	JARLのメジャーコンテストを提案通りに直して列記してみると、 ・ALL JAコンテスト 4月最終日曜日の前日と当日 ・ALL ASIAN DXコンテスト電信部門 6月第三土日 ・6m AND DOWNコンテスト 7月第一土日 ・ALL ASIAN DXコンテスト電話部門 9月第一土日 ・フィールドデーコンテスト 9月第三土日 ・全市全郡コンテスト 10月の第二月曜日の前々日と前日 何故、年間の半期しか活動しないのか、特に9月始め～10月初めに3コンテストが集中する事に成ります。梅雨時期だから、熱いから、台風シーズンは、と理由を付けて居たら日本に住めないし、実施時期を振り分けられません。もう少し1年間を有効に考えた方が良いのでは有りませんか？ 4 フィールドデーコンテストの日程変更に関して、自由意見で述べた理由 半年に全コンテストが集中して居る。特に9月始め～10月初めに3コンテストが集中。これらの理由で提案は勧められません。一年は12ヶ月も有るので、もっと分散してください。年間総合でも競っている局も有るのでから。				
16	JH0MXV					○	フィールドデーコンテスト日程変更:9月第3土日 その他 ・運用時間を18:00～12:00を希望 ・天候もよく秋の農作物収穫前でよい。		
17	JH6FTJ			○	現在の8月第1週で良いと思います。但し、21時～15時までとする。 現在は、6m AND DOWNコンテスト 7月第一土日 フィールドデーコンテスト 8月第一土日 ALL ASIAN DXコンテスト電話部門 9月第一土日 全市全郡コンテスト 10月第一か第二の土日 とコンテストが並んでおります。 フィールドデーコンテストを9月第三土日に入れますと、9月にコンテストが2回、10月に入ってしまうコンテストと、あまりにもコンテストの開催日が近くなってしまいます。開催日の変更は、最終手段です。 現在のフィールドデーの開催時間に問題があると思います。以前は、21時～15時だったのを、18時～12時に変更したのが間違いだったと思います。 みんなが土曜日が休みではありません。どうしても18時に電波を出すには、14時から準備をしないと行けません。お日様の下、暑いです。食事の時間もとりづらいです。21時であれば、16時からいからで十分に余裕があります。仕事が終わって、駆けつける人などで、アンテナ設置などの人手が集まり、食事でパーベキューなどもできます。また、終わる時間も12時だと一番暑い時間に片付けなければなりません。15時だと少しは涼しくなります。				
18	JH1GOF			○	フィールドデーコンテストの日程変更は反対です。理由:台風の影響を考えると、9月下旬の野外イベントは避けるべきです。8月上旬に台風が来る事も有りますが、9月下旬の方が危険だと思います。				
19	JH4UYB			○	理由は下記2点。 1.前週若しくは同じ週にXPO、AI地球博コンテストが10年以上前から実施されています。どちらも全国対象で盛況です。この2つが接近する年もあり、過密スケジュールであるところに、さらに全国対象のFDコンテストは不要です。よりによって何故この日程にねじ込もうとするのか、最悪のスケジュールと感じます。 2.8月第1週は猛暑・酷暑の最盛期で病人、体調不良者が続出するから日程変更せよ、という一部の声の大きな意見があったものと推察します。昨今の気温上昇で気温そのものは危険レベルにあることは認めますが、その解決策が「日程変更」という短絡的な思考が残念すぎます。困難な条件ならばそれを解決すべく、工夫することを含めての全てがコンテスト参加であると考えます。不可ならばその局は参加しなければ良いだけです。無用の親切心で主催者が右往左往した結果が、2015年からの18時スタートという愚策だったのではないのでしょうか。結局のところ全局が満足、納得する方策は存在しません。日程変更してもまた反対意見は必ず出ます。主催者側は大枠を提示するのみであって、参加者自身が参加の是非と工夫をすべきです。2012年からこのような意見募集が3回目ですが、集約された意見は全く反映せずして、極一部の強力な意見には即座に反応して改悪を繰り返してきた苦い経験に気付いてください。50MHzの周波数区分、FDコンテストの時間帯変更など。				
20	JI2KGI			○	アマチュア無線の野外運用は、常に炎天下で動き回る事が要求される屋外スポーツの大会と異なり、取り立てて熱中症の考慮は不必要と考える。また移動運用に適した標高の高い山岳エリアは、8月は気候としてはちょうど良いところもあり、一概に悪い季節とは思えず、むしろ絶好のフィールド(山岳)移動の季節であると思います。				
21	JJ4MEA					○	現在8月の暑い時期で屋外での移動運用では熱中症のリスク大です。 暑いためエアコン効いた車内からの運用になればエンジン掛けたままで環境上にも良くないため少しは涼しい6月か9月後半が望ましく思います。		

	コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由
22	JH0MUC			○	フィールドデーコンテストの9月実施に「反対」します。 現行(8月第一土日)が良い。 ① >8月第一週は野外での活動を行うには危険な天候となる可能性がきわめて高くなります。の理由が解らない 出典を示してください。 最初に結論在りきで ミスリードを誘うつもりではないか? なお、例えば 降水量は 広島では8月110.8mm 9月169.5mm 、長野では8月97.8mm 9月129.4mmですが...?? URL → https://weather.time-j.net/Climate/Chart/Nagano 9月のほうが台風を気にしなくてはならないのではないかと? ② すでに規約を改定して「高齢者」は移動運用せずに クーラーの効いた部屋で出ればよいことになっているので、日程を変える必要はない。 ③ リアルヤングの夏休みに行われているものを変えるのは如何なものか。		
23	JA6ACZ	○	フィールドデーコンテストの日程を9月第3土曜21:00～日曜に変更される案に賛成ですが、終了時間を日曜15時までに戻してほしい。9月第3週頃は真夏ではないので撤収作業も楽になると思います。				
24	JE4XWS			○	フィールドデーコンテストの日程変更 反対 その他意見: 変更されるとAADX、FD、ACAGと過密スケジュールになってしまう。 地域差はあると思うが、収穫期、行事(運動会、文化祭など)が多い時期に、JARL主催コンテストを集中させるのは如何なものか。	○	気候だけでなく、感染症対策なども考慮すると、移動を目的としたFDは廃止し、その他のコンテスト(ALL JA、6D、ACAG)に移動係数を適用(移動局を有利に)してはどうか。 その代わりに、8月のお盆時期(13日、14日頃)、交信局数10局、6年で一巡するような、夏のQSOパーティーを設定してはどうか。
25	JR4ERC			○	移動運用の可否を決定する悪天候の要素は、気温ではなく、風と雨である。 8月及び9月の風と雨を決定するファクタは台風である。8月と9月の台風の 上陸数を比較した場合、8月0.9個、9月0.8個と統計的に差はない。しかしながら、 平成以降に大規模な災害をもたらした台風は9、10月に集中しており、8月は皆無である。 (出典:理科年表)以上から、8月から9月への日程変更は反対である。		
26	JQ1ARQ			○	フィールドデーコンテストの日程変更 反対 * 直近3年関東から参加しております。 屋間は確かに暑いですが夜は問題ありません。 移動地までは車で行くので、昼間の設営中などは適宜車内で休憩するなどしております。 全国どこからでも快適な日時などないので、熱中症対策等各個人の対応でいいかと思 います。 * 9月後半に変更するとコンディション、Eスポなどでの交信はどうでしょうか。 無線の面白みが半減してしまいます。 もともと局数が少ない地方の方々にはさらに交信局数が減ってしまい楽しめない のではないのでしょうか。 * 夏休みということで参加していた学生さんたちは変更した場合参加できるの でしょうか。9月後半ですと文化祭、学園祭の準備、大学によっては後期授業開始 の頃ではないかと思 います。学生さん方の意見を是非取り入れていただきたいと思 います。アマチュア無線を若い 方達に広める、楽しんでもらうという意味でも大事なことはないかと思 います。 * 昨年のことを考えると9月、10月は台風の被害が酷かったのは皆さんご承 知かと思 います。それを考えても9月に変更はどうかと思 います。台風シーズンです。 * 時間についてですが、現在と同じ18時～12時希望です。 屋外での設営は暗くなる前に終了させる方が多いと思 います。前回の意見募集のコメント をみると、21時開始希望の理由は開始前の宴会の為という方も多 いよう です。そのような方がいるのも理解して おりますがあくまでもメインは無線 ですので、その点から18時開始を 希望 します。21時開始にすると18時～21時までの電波伝搬を楽しむことが できない です。 昨年のFDでの状況ですが、18時～21時の間はHFハイバンドがそこそ こ開 けて楽しめ ました。18時開始は21時開始に比べてより多くのバンドで楽しめ ます ので、コンテストが盛り上がる と思 います。21時開始でないと設営が間に合わない ので参加できないという方が 大多数 ということなら、21時開始に変更もやむを得ないと思 います。 * 終了時間については12時希望です。 翌日にお休みがとれる方ばかりではないと思 います。早く帰ってその日の うちに機材を片 づけ、疲れをとって翌日に備えたい です。12時終了後の撤収は暑い という意見もあるよう ですが、15時終了になったら12時～15時の暑い時間に炎天下で運 用してその後撤収になる ので更 に辛い です。		
27	JK1VUZ			○	フィールドデーコンテストの9月第三土日の実施には反対です。 この時期は台風が多く危険です。 全市全郡との入れ替えには賛成しましたが、9月第三土日への変更は反対です。	○	開催時間を21時～15時に戻すのは賛成です。 その上でモーニング部門(日中部門)を9時～15時とし、 オールバンドのみではなく、日中部門にも各シングルバンド種目を設 けることを提案します。
28	JJ1FNU			○	フィールドデーコンテストの日程変更には反対です。 理由:9月、10月は多くの中学校や高校等が学園祭を控えており、少年ハムの参加が難 しく なるから です。また、9月、10月にALL ASIAN、FD、全市全郡が集中してしま うより、7.8.9.10月 と分散して いたほうが 良いと感 じます。 以上の理由 から、日程 変更には 反対 です。		
29	JG6MDS			○	フィールドデーコンテストの9月実施に反対します。 ⇒ 理由: ①9月に開催されるAACWコンテスト、10月に開催される全市全郡コンテストとの 間隔が 少なくなり、 全てのコン テストへの 参加が厳 しくな ります。 ②9月開催 ですと、台 風シーズン 本番とな り、移動 しての参 加が重要 なFDコン テストへ の参加 の可能 性が下 がる と考 えら れ ま す。		
30	JO1EUJ			○	フィールドデーコンテストの日程変更は反対。 理由 (1)熱中症対策にはならない。 熱中症発症リスクは、候補日の9月第三土日と現行の8月第一土日との間では 大きな 差は無い のが実情 です。熱中 症対策を 根拠と する ならば、 現行日 と候補 日の日 本全 国の熱 中症発 症患者 数の確 固たる 物証(医 師が監 修確認 した もの)を、 すくなく とも過 去20 年分 ほど分 析して、 明らかに 候補日 のほうが 発症件 数が少 ないこ とを明 記する べき であ った。 札幌 での気 温を例 にしてい るが、無 意味 である。 (2)台風 の多発 時期 である。 9月 は台風 が直撃 するリ スクが 一番 高い 時期 である。 悪天候 が想定 される 時期 の移動 運用 推奨 コン テスト 実施は 危険 行為 誘発 行為 である。 (3)他の コン テスト との重 複 候補 日の土 日の翌 日は関 西地方 本部 主催 のXPO コン テスト が開 催さ れる。 フィールド デー コン テスト とXPO コン テスト の両 方に 参加 する 場合 は、傍 目には 3日間 連続 して 無線 三昧 にな る。 この 場合、 いわ ゆる 「家庭 内マ ッチ ング」 の観 点で はど う だ ら う か。 (4)3連 休に伴 う交 通混 雑 移動 引先 によ っては、 15時 にフ ィ ー ル ド デー コン テ ス ト を 終 え て から 撤 収 と 帰 宅 を し、 翌 日 は家 から XPO コン テ ス ト に 参 加 す る と い う 計 画 を し た と き は、 帰 路 で 無 理 が 生 じ な い か。 世間 一般 では 3連 休 で あ る か ら、 道 路 や 交 通 機 関 の 混 雑 や、 コン テ ス ト で 疲 れ て い る 中 で の 移 動 先 から 自 宅 ま での 車 両 運 転 や 公 共 交 通 機 関 で の 移 動 を 考 慮 す ると、 疲 勞 の 面 で 全 く 問 題 は 無 い と 言 い 切 れ る の か。		

	コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由
31	JH8XTE			○	・反対理由: 気温について9月第3週の札幌市の最低気温が13度程度であり、移動運用には問題ないとのことですが、札幌だけが北海道ではありません。道北や道東は札幌よりも寒いですし、ロケの良い標高の高い場所等も同様に寒いです。モービル移動でロケの良い標高の高い場所等で運用する場合、それなりに冬の装備を持参します。車中泊時に暖房を入れずに寝ると、寒くて寝れません。ですから9月でも移動運用でテントを張ってキャンプをしながらQRVする局なんていないと思います。北海道では9月下旬も移動運用の適期とはいえません。もしFDコンテストが9月第3週土日開催となると10月と同様、Esは無し、HFハイバンドは聞こえない、VUは8エリアでは閉古鳥が鳴いている。このような状況でマルチバンドで楽しむことはできません。HFは3.5か7に限られ、VUは1時間以上CQを出し続けても応答がない場合もあり、面白くありません。 また、8月第1週は野外での活動を行うには危険な天候となる可能性が極めて高くなります。このことがFDコンテストの日程を変更する理由であるなら、8月最終週土日に屋内で開催されるハムフェアを7月最終週土日か8月第1週土日に変更し、FDコンテストと入れ替えるのが妥当と考えます。 上記の理由から私はFDコンテストの8月最終週土日開催を希望します。		
32	JR2NTC	○	9月の第3土日への変更について、おおむね賛成です。理由は、現在の8月第1土日では、アマチュア無線家の平均年齢が年々上がっていることや雷雨や 昨今の猛暑による事故が起こりかねません。変更もやむなしと考えます。 フィールドデーコンテストは野外に移動して親睦を図るのが目的です。特に、社団局ではメンバーの親睦を深める意味合いが濃いものです。学校関係の社団局は、新入部員の実践の場でもあり、先輩の腕の見せ所です。地域・職域の社団局は、野外で夜の食事を楽しく済ませて、21時からの(現在は18時からですが)いざコンテストへという正に親睦の場です。安心して親睦を図れるように、開催日を変更することは妥当です。 9月の第3土日となると、本州では雨の心配が多くなることと電波の伝搬上おもしろみが欠けることは考えられません。しかしながら、21時からの開催ということであれば、夕食をとってからコンテストへ参加する一連の動きに余裕が生まれます。(どうも18時開催は設営準備や夕食のことを考えると、たいへん忙しい。)メンバー間の親睦を図る、コンテストの得点はこの次かな?というフィールドデーコンテストの目的は達成できるものと考えます。				
33	JR8OGB					○	ア 開催希望日時 開催日時については、9月の第1週の現行時間での開催を希望する。 イ 9月第1週を希望する理由 9月第3週の開催では、Esの発生頻度がかかなり低くなってしまい、地方から高得点を出す事が困難になるため。 また、9月第3週開催になった場合、日暮れの時間が17時近くになるため、15時終了ではなく現行時間の開催を希望するもの。(15時終了だと、日暮れまでに撤収完了するのは難しい。(私の撤収に掛かる時間は概ね2時間)) ウ 9月第1週に開催するための他コンテストの日程変更について 現在9月第1週に開催されているALL ASIAN(SSB)コンテストを空いている9月第3週に変更。同日程には、SAC(CW)コンテストが開催されているがモードが異なるため問題は発生しない。ただ、ALL ASIAN(SSB)コンテストは、48時間コンテストであるため敬老の日に開催されているXPOコンテストと開催時間が重なる部分が出てくるため、XPOコンテストをFDで使用している8月第1週に変更する。ちなみに、私は、現行日時での開催が希望であるが最近の気候変動で8月第1週が殺人的な暑さになること、9月の遅い時期になってしまえばEsシーズンが終わってしまい高得点を出すことが難しくなること等を考慮して上記の案となったものです。また、9月第3週開催ではACAGIに近すぎてACAGIへのモチベーションが上がらず不適であると考えます。
34	JA1CTZ			○	フィールドデーコンテストの日程変更:9月実施に反対 フィールドデーコンテストを9月の第三月曜日の前々日の21時～前日の15時までにする日程案には反対します。 ALL ASIAN DX コンテスト電話部門が9月第一土日、全市全郡コンテストが10月第一土日に開催され、それぞれのコンテストのインターバルは約2週間となり、かなりタイトな日程となってしまいます。JARLのコンテストがこのような過密日程で開催されると、参加する側はその準備が負担となりますし、集計等の事務作業にも支障を来すことが考えられます。現行の日程はあらゆる面で良く考えられていると思います。フィールドデーコンテストにおいては、熱中症予防を目的とするなら日程は現行のままで開催時間の短縮を検討しても良いと考えます。8月第一土日の21時～12時、あるいは極端な案ですが全ての部門の開催時間を現行のモーニング部門に合わせて日曜日の6時から12時にしてしまうのも良いのかも知れません。日程を変更しない場合でも開催時間は以前の21時から15時までに戻すことを希望します。		
35	JA3IEZ			○	9月実施に反対いたします。 理由: 日本の台風シーズンで最も台風が上陸する月である。 熱中症対策のための日程変更であるが、そもそもがコンテスト開始時間を18時からに早めたためアンテナ等設営時間にゆとりがなくなったためであると考えます。 熱中症にかかった参加者はどれほどの人数があり、JARLとして対策を取らうとしているのですか。今まで、熱中症になったというのを聞いたことがありません。予防のためだと解釈しますが、元の、21時開始が良いと考えます。		
36	JG1UJD			○	フィールドデーは年に1回、仲間で集合して懇親を深める非常に貴重な機会。行動の自由度が高く、防寒対策が不要な夏であることが重要。 テントで寝て、朝早く起きたときのウグイスの声やしばらくしてから鳴きだすセミ、夜、キャンプの光に集まる虫たちなどは夏ならではの風物詩。これらを毎年経験することで夏を実感し、みな今年も集まったことに感謝している。 フィールドデーが9月になったのでは寒くて移動する気になれない。夏休みだからみなが集まれるのであって、9月では全員の予定が合わない可能性が高い。 これまで40年以上に渡って移動運用してきた8月のフィールドデーの楽しみを奪わないでほしい。オンエアするのはほぼフィールドデーのみなので9月になると無線をやる機会がなくなりそう。		
37	J E4YLV	○	「理由」移動運用を推奨するコンテストを移動運用が適している時期に実施することは適切な判断であると認識しており、変更案は現状より移動運用が実施しやすい気候であると感じられるので、賛成致します。また、開催時刻について、土日休みの会社員や学生が準備や撤収を含め金曜や月曜に年休などを取得せずとも参加可能であることからコンテスト参加への敷居が下がり、衰退していると言わざるを得ないアマチュア無線の活性化にも繋がると考えられるので賛成致します。				

	コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由
38	JL1OLH			○	・フィールドデーコンテストの9月実施：【反対】 【反対理由】9月は野外での移動運用を妨げる雨や台風が多い時期だから ・9月には本州付近に秋雨前線が停滞するため、全国的に野外での移動運用の妨げとなる雨の日が多くなる。 ・さらに、9月(8月から10月にかけて)は一年のうちで台風の接近や上陸が最も多い時期にあたり、暴風、豪雨、氾濫、土砂崩れなどのために、移動すること自体が危険あるいは不可能になる恐れも大きい。 ・台風が遠く離れていても、前線に影響すると天気が変わりやすく局地的になり、野外への移動を決定するか否かの判断が難しくなる。 9月実施という案は、最初に10月の全市全部コンテストとの入替を検討し、駄目ならばそれに近い時期を探るという流れもあったのかと察する。しかしながら、熱中症の危険は回避できたとしても、上記の理由から、9月はフィールドデーコンテストの趣旨である「野外での移動運用」に適した時期ではないと思う。	○	【改善案(9月実施の代案)】5月～6月に実施 他のJARL主催コンテストとの日程入替にこだわる必要が無いならば、時期としては、一年のうちでも気候の穏やかな5月(大型連休の後)から6月(入梅の頃まで)にフィールドデーコンテストを実施するのはいかがでしょうか？ この時期は全国的に天候が安定して晴れの日が多い上に、熱中症が危険なほどの暑さもなく、野外への移動には最適な時期です。台風や豪雨などの心配もほとんどありません。野外で危険な雷も真夏に比べて少ないです。 電波伝搬の面からも、Eスポを楽しめる時期に当たります。 さらに、夏至に向かって昼間の時間が長くなるため、早朝から夕刻まで明るい野外で活動できる時間を多く取れるのも移動運用には好ましいことです。 また、この時期、主要なコンテストが開催されていない週末もありそうですし、地方のコンテストや各地の行事などは重なるかもしれませんが、日程調整は不可能ではないと思います。
39	JR4VEV			○	日程変更には反対です。夏休み以外の時期に変更した場合、学校社団局の参加がほぼ不可能となり、若い世代の育成にかなり悪影響が出ると思います。 暑さ対策ですが、FD-TESTは真夏に実施されるのが分かっていますので、常置場以外へ移動して運用する方々は、各自それなりの対策を実施していることと思います。現状の日程が一番良いと思います。 また、開始時刻は、以前の21:00スタートに戻して欲しいです。私の所属する地域クラブでは、FD-TESTへの参加がほぼ唯一の行事となっており、食事をしながら親睦を深めたり作戦を練ったりする時間は大切なひとときでしたが、開始時間の変更でその貴重な時間が失われてしまいました。		
40	JA4EHG					○	熱中症対策で9月に実施についてですが、何ですか？と思います。 クラブ局を作り、昭和43年頃から8月第1週の土曜日・日曜日はフィールドデーコンテストに参加と、再免を忘れて大慌てした日を除き移動運用を継続して来ました。 酷暑も、大雨も、焚火とジャンパーの必要な日も経験しています。 もっと言えば、熱中症対策で8月の花火大会とか〇〇フェスタとかのイベントが中止や延期の話は聞きません。 現に、ハムフェアも通常時は8月開催ですし、関ハムも7月ですよ。 災害やコロナの影響で中止などは解りますが再考をお願いします。 前にも書きましたが、6mのEスポが出た出ないで一喜一憂するフィールドデーコンテストなので。
41	JJ3EBU			○	反対 現行の日時で問題ないと考えます。 熱中症の危険はありますが、危険な状況が迫った場合は、コンテスト参加を中止すればいいだけのことです。 もしくは、熱中症を回避できる設備を用意すればいいのではないのでしょうか。 参加局の実力は、リスクマネジメントを含めてのものであると考えます。 設備を用意できる経済力のある参加者が優位に立つのは、当然のことです。 8月上旬よりも9月中旬のほうが、台風発生確率は高いように感じます。 どの時期でもリスクはあるので、無理に日程変更を行わなくても良いのではないのでしょうか。		
42	J11RCB			○	今の日程では確かに暑いので熱中症のリスクが高いですが、夏休みもあり休みが取れやすい環境ですので、参加しやすいです。また、9月はお彼岸も近く参加しにくくなります。 時間短縮を提案します。 現行 18時から翌日12時 提案 18時から翌日10時 日曜の昼を少し削るのはいかがでしょうか？		
43	JA7KPI			○	フィールドデーコンテストの日程を変更する必要があるのだろうか。 前回の意見募集時、当方は次のように意見提出した。 『開始時刻を3時間早めたことがまず大きな間違いである。18時開始であれば設営は当然それ以前、また撤収は12時コンテスト終了後となるが、どうしても陽が最も高い時間帯になってしまう。21時開始であれば日没は18時50分頃であり夕方以降の比較的涼しい時間帯を設営に活用可能だし、コンテスト終了の15時以降の撤収は12時終了の撤収よりも負担が少ない。以上のことからコンテストの開始終了時刻を以前の21時開始 翌日15時終了に戻すべきである』 これだけで現状よりも身体的負担は軽減されると考えられるが、JARLは低WBGの日程に拘泥し続けている。 前回の意見募集時、当方は次のようにも書いた。 『百歩譲って日程変更を考えるならば、WBGが上昇する前の7月20日頃に設定の方が電波伝搬的にも良いのではないかと。6m&Downコンテストとの間隔を問題とするならば6m&Downをも6月20日頃に移動するのも手である』6m&Downの日程を変えないならば、フィールドデーコンテストを5月～7月に移動させる。他コンテストとの日程調整が問題となるが、それをおこなうのがJARLではないだろうか？ JARLは9月第三週土日の開催案を出している。『フィールドデーコンテストを10月第一週土日に実施することは北海道、東北および高所など寒冷地の気候を考えると移動には適しておらず』として10月第一週土日を自ら否定したわけだが、『10月第一週土日』と『9月第三週土日』は近接しており、天候的には良好とはいえない。この時期は秋雨前線の発生により長雨が続く場合がある。 また、一般的に8月第二週を過ぎるとハイバンド以上の周波数の国内伝搬状況は悪化する。野外運用の肝は、やはり丘や山岳に移動してのハイバンド～VUHFであろう。つまり、電波伝搬的にも9月第三週の日程は受け入れられない。		
44	J17OED			○	・フィールドデーコンテストの9月実施：反対、その他意見あり 理由 コンディショナルにふさわしくない。 意見 野外で猛暑の中での設営となるのを避けるため、フィールドデーコンテストの開始時刻を21時に変更して頂きたい。		
45	JO1ATK	○	理由は当方は最近、移動運用はしていない為、いつてもかまいません。 近年のルール変更で固定局同士の交信がOKとなったので、非常に助かっています。				
46	JH1PVJ			○	9月第3週への日程変更は以下の理由により反対です。 ①9月は台風シーズンであり、8月第1週に比べて台風が直撃する回数が多い。その時期に移動運用を推奨するコンテストを開催するのは日程的に無理がある。 ②9月第3週だとFDコンテストの翌日に関西地方本部主催のXPO記念コンテストがくることもある。このコンテストは全国対全国で参加者が多いが、FDコンテストの翌日となってしまうと体力的に参加が難しくなる。割り込むことは控えたい、と言いつつ、これでは割り込んでいるようなものではないか。 ③9月はEスポが出る確率が8月に比べて低く、コンテスト自体の楽しみが薄れる。毎年、同時期のXPOコンテストに参加しているが、HF帯のコンディションが悪い年が多い。競技としての楽しさを犠牲にしてまで日程変更をするのは強く反対します。		
47	JA3WDL			○	F/Dの日程変更 反対 理由 昨年の意見募集時にも書きました。 現行日程で良い。日本は、夏暑く冬寒い気候です。 書かれている、コンテスト委員会の見解は、理由にならない。 過去のログ提出時の意見欄に「数名の局」の意見で開催時刻変更が行われた。会員からの意見を聞く事は良い事ですが、その様な話が聞こえて来ても、手直し「案」を造りまた聞く、コンテスト委員会発想が乏しいと感じる。	○	その他 ・F/Dの開催時間も、元に戻して欲しい。すなわち21時～翌15時 ・コンテスト時のQSL発行は、周波数・モード・運用地が同じ場合、発行を控える態度をする事。
48	JR1SIM			○	反対 8月の暑さ対策として屋外の活動をひかえるのは「フィールドデイ」という言葉にとらわれすぎている。目的を「夏季休暇時の親睦を図るため」として「サマーコンテスト」と改称し、局種係数として優遇するのは「商用電源以外の使用」に限定すれば十分である。		

	コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由	
49	7K1BIB	○	フィールドデーコンテストを「9月の第三月曜日の前々日の21時～前日の15時まで」に変更することに賛成する。「野外へ移動して運用するアマチュア局との交信をはかるため」という目的に照らせば、5月か9月が適切と思われる。9月は台風シーズンであることが懸念されるが、他の月に変更することは無理と判断したのは委員会の熟慮の結果であろうから、尊重申し上げたい。時間帯を21時から翌日15時までに戻すことは、運用開始前に皆で夕飯を取れる点、撤収作業を夕方にできることになる点で望ましく、賛成である。モーニング部門は、日曜日9:00から15:00として存続をお願いしたい。					
50	JF2KRH			○	フィールドデーコンテストの9月第三土日への日程変更には反対します。8月と9月では、バンドコンディションが違ってきますので、これまでのコンテストレコード更新を目標としてきた局にとっては条件が大きく変わってしまいます。コンテスト参加に際して、熱中症や雷雨などの危険性を想定してコンテストに臨みます。コンテスト委員会は8月第一週は野外での活動を行うには危険な天候となる可能性が極めて高くなると言っていますが、9月は台風の影響が高くなり、時期をずらしても同じではないでしょうか？また、個人的な都合になってしまうかもしれませんが、8月開催では職場の夏季休暇が取得できませんが、9月では思うように休暇が取れません。			
51	JJ2JQF			○	フィールドデーコンテストの日程変更 大反対 ・9月3週に日程変更になると9月1週にAA.3週FD、10月1週全市全郡と1か月の間にJARLコンテストが3つと過密日程となる。 この短期間に24時間(AAは48時間)も無線だけをするには仕事にも家族関係にも大きな影響を及ぼすことになる。 結果的にコンテストに参加しづらくなるため参加局数も減少することになる。 ・9月3週目となるとハイバンドでの国内の伝搬状況が期待できず、見通し範囲に局数の多い1エリアの優位性がさらに高まることになる。 ・9月3週目、台風シーズンである。天候による移動運用のリスクは低いとは言えない。 ・敬老の日には例年、XPOコンテストが開催されている。このような歴史ある大きなコンテストに連続する日程は好ましくない。 18時間運用した翌日、早朝6時からまた12時間のコンテストは厳しい。 主催者とコンセンサスが得られていないならJARLの横暴である。 以上のことからメリットを大幅に上回るデメリットがあるため、委員会提案の日程変更には断固、反対する。	○	どうしても日程変更を検討するのであれば、AA CW.Phを統合し、9月1週に開催。 6月3週にFD(梅雨を避けるのであればここに6D、7月1週にFDでも可)とすれば伝搬的にもよい時期。 ・また、日程変更がなかった場合も開催時間は以前の21時スタートを希望する。 18時スタートになったことで人が少なくなる時間が早まり、朝、にぎわい始める時間帯は変わらないことからヒマな時間帯が長くなった。 また、設営、撤収時間が炎天下になることから熱中症の危険度が高まっている。	
52	JA3EIZ			○	フィールドデーコンテストの日程変更について反対である。 意見 以前FDを10月第1週にする案があったが今回の9月第三週と天候的にはどれほど変わるのだろうか。 JNでは札幌の平野部の気象例があったが移動は平野部だけでは無い。適した山岳部でもっと厳しくアマチュア無線の移動運用には適さない8エリアのガイドが言っていた。もしそのような場所で事故があればアマチュア無線禁止の場所が増えることであろう。 また、夏場の気候の安定している時期のほうが安全に参加出来る。又生徒、学生も通常は夏休みで準備を含めて参加しやすい。ボーイスカウトなども屋外訓練の一貫として参加もしやすいだろう。 夏場のほうがESポもあり、交信は楽しめるだろう。 熱中症対策というが、その論理で行くとすべての無線以外のイベントも夏場は出来ないことになる。夏場のイベントは他にも色々やっている。この事はコンテスト委員会はどうか考えているのかわからない。熱中症対策は個人でベストを考えればいい。 私の目から見たら何故執拗に日程を変えようとするのか理解出来ない。 運用開始時間も従前の21時に戻して欲しい。参加者全員が18時に間に合わせて準備が出来ない。特に1200MHz以上の周波数は準備にかかる割に局数が少なく、経験からすると21時開催のほうが局数は多かった。 コンテストの配点も移動運用を優先していわゆるホームステーションの点数比率を下げたほうがいい。現状では生活条件、運用システムなどの条件のいいホームステーションが優位に立ち移動局の参加意義が薄れていく。ホームステーションが上位に来るフィールドデーは意味がない。			
53	JA1TAZ			○	4. フィールドデーコンテストの日程変更: 反対 ①台風の時期に当たり、温暖化の影響により今後ますます強大になると考えられる。 ②10月の全市全郡コンテストとの間が短い。 ③高い山に登ると寒さ対策も必要となる。			
54	JA3HBF			○	委員会の改正案(9月第三週)に反対します。 理由: そもそも開催日を変更しようとする目的は「熱中症対策」であり、熱中症対策は各個人が的確に対応することによって防げるものであります。コンテスト開催案内に十分喚起する事によって防ぐことは可能であり、今までも私たちはそれに注意して参加しており、それが原因となる事故になったことはありません。変更しようとする理由が無いかぎり現行の開催日を希望します。	○	<フィールドデーコンテストのルールについて> 以前に開催時間帯と交信相手を変更するルールの改正が行われましたが、開催日よりこちらを元に戻すことの方が優先すべきです。開催時間帯を元の21時から15時とし、ホームステーション同士のQSOを無効とすべきです。 その理由としては次の通りです。 「開催時間帯について」 ・例年設営が完了するのが18時～19時頃になる。これはクラブ員の熱中症に配慮し作業を急がないため。 ・その後、21時まではクラブ員の親睦を図る時間帯としていたこと。 ・撤収は夕方に掛けて少しでも暑さが和らぐ時間帯としていたこと。 「ホームステーション同士のQSO」 ・これはコンテストの趣旨から大きく外れることから、元に戻すべきです。 私の所属するクラブでは毎年の行事としてフィールドデーコンテストに参加してきましたが、ルール改正後のコンテストに参加して以来その後はクラブとしての参加は見送られました。クラブ員が個々に参加する事としました。それは巨大クラブであればコンテスト開始時迄に設営もできますが、弱小クラブでは設営と夕食を18時までに完了する事が無理だからです。クラブ行事を復活させるためにもこの開催時間帯をぜひ元に戻して下さい。	
55	JR3CNQ			○	委員会の改正案(9月第三週)に反対します。 理由: そもそも開催日を変更しようとする目的は「熱中症対策」であり、熱中症対策は各個人が的確に対応することによって防げるものであります。コンテスト開催案内に十分喚起する事によって防ぐことは可能であり、今までも私たちはそれに注意して参加しており、それが原因となる事故になったことはありません。変更しようとする理由が無いかぎり現行の開催日を希望します。	○	<開催時間帯について> 元の時間帯に戻すべきである。開催時間を21時～翌15時に戻す事 ・ANT設営後、21時まではクラブ員の親睦を図る時間帯としていたこと。 ・撤収は夕方に掛けて少しでも暑さが和らぐ時間帯としていたこと。	
56	JM3WYA			○	フィールドデーコンテストの日程変更 FDコンテストは夏の暑い時期に仲間と移動運用をして楽しむもので、元々は多くの学生ハムが夏休みに合宿を兼ねた一大イベントでありました。私も高校3年間はフィールドデーコンテストで山の上に合宿移動運用をしました。免許証を持っていない人も合宿に参加してオペレーターを見学することにより、自分もアマチュア無線をやってみようかとなる良いチャンスにもなっていました。本来、活発にアマチュア無線をやってもらいたい今では少なくなった学生ハムの参加を促す為にも8月初頭の開催は譲れないと思います。若い人が減ったから年寄りに合わせるというスタンスであればアマチュア無線界は活性化しません。ハムフェアと同じで8月開催は子供の夏休みに合わせるためです。 開催時間について、従来通り21時開始に戻してください。 移動運用とは屋外でするものであって自炊を伴うものです。夕食を食べて片付けてスイカを食べて花火をした後にオペレーターをするものです。 FDコンテストはそういう意味で他のコンテストとは趣旨が違います。			

	コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由
57	JR1UJX			○	フィールドデーコンテストの日程変更 反対します。理由は以下のとおりです。 ①台風が本州に上陸する時期であり、強風・豪雨による危険が懸念されます。 ②小学校～高校の夏休み期間中から外れてしまい、生徒が参加しづらくなります。これは青少年を増やそうとする施策に反します。 ③僅か1か月強の間にAll Asian、フィールドデー、全市全郡が開催されることとなり、仕事や家族との調整に苦慮する参加者も多いと想像します。 ④変更理由を「熱中症対策のため」とされていますが、既に移動しない局同士の通信が得点となるようルールが改訂されており、野外運用を回避することは可能です。また、気温データを見る限り、近年急に8月の気温が高くなったとは思えません。以下は代替案の提案です。準備から片付けまで経験されるとわかると思いますが、暑さが負担になるのは設営時と撤収時、つまり開始前と終了後です。暑さのピークとこれらが重複しないよう、以前と同じ21時開始15時終了とするか、思い切って土曜日の10時開始、日曜日の04時終了にするのが良いと考えます。		
58	JH3AGV					○	9月の第三月曜日の前々日の21時～前日の15時まで ・フィールドデーコンテストの9月実施:その他意見 21:00～12:00の短縮開催を希望。 同月にAAとFDの2大コンテストが存在することになりますが、日程が接近しており現役世代には調整が難しいスケジュールです。 AAPHとACAGの開催日変更も含めた検討をお願いしたい。 8月 全市全郡、9月 フィールドデー、10月 ALL ASIANDX PHONE 等
59	JR3QHQ			○	委員会の改正案(9月第三週)に反対します。 あなた方は、何回意見を募集すれば気が済むのでしょうか。 多くの会員が、もうウンザリしています。 自分たちで決めることが出来ないのであれば委員会を別の方々にバトンタッチすべきです。 あれから何年経っていますか。 バカなルール変更でフィールドデーコンテストを全く魅力の無いコンテストにしてしまいました。 反対の理由 9月第三週には、XPOコンテストにあまりにも近すぎます。 熱中症対策と言われますがみなさん大人です自分で管理するのが当たり前です。 全く理由になりません。 以前あえて変更するなら6m&Downとの日にちの交換を遂行しました。これは、撤回します。 その理由は、コンテスト委員会はこれを受け入れようとしなからず。 それなら日程の変更の必要は、ありません。 ホームステーション同士のQSOの撤回を要求します。全く趣旨から離れています。 コンテスト時におけるQSLカードの交換については、私が41回理事会と第50回理事会に上程した議案を添付します。 いずれも理事会で否決されたものです。 (添付データ:2)		
60	JA1OTP			○	9月はJARLのみならず、他団体主催のコンテストも多数開催されております。 その中でフィールドデーコンテストを開催すれば、他のコンテストとの日程が過密となり、仕事や家庭環境など社会生活を営む上で一番大切な部分に影響が出かねません。 また、9月の中・下旬は台風のシーズンであり、移動運用をメインとしたコンテストを台風シーズンに開催することに対して違和感を覚えます。 なお、日程の変更を考えるとすれば、梅雨や台風、熱中症の心配が少ない5月下旬から6月中旬に開催するのが好ましいと思われれます。 最後に、2015年より18時スタートになってから通信局数が減少しており、伸び悩んだ状態のまま12時を迎えるという状況になっています。にぎやかになる時間帯は21時過ぎから0時までと翌日の8時過ぎからであり、この時間設定では参加局の増える時間帯が少なく、ひいては参加局が減少し、つまらないコンテストという印象を受ける局もいるのではないのでしょうか。 日程の変更如何に関わらず、開始時間は21時開始に戻して頂けるとありがたいと思います。		
61	JP1ILT			○	9月第3土日(9月中旬)は、8月第1土日(8月上旬)の時期と比較すると、全国的に降水量(雨天)が多く、移動運用には適さないのではないかと懸念します。気象庁の気象データ検索で過去5年を検索すると(各エリアの総合通信局所在地10か所検索)ほとんどの地点において、9月中旬は降水量が多く観測されています(別紙データ参照)。熱中症は「こまめな水分補給」「適宜休憩をとる」等の各自での対策は可能ですが、降水量が多いことへの対策は厳しいと思います。特に山間部への移動運用の場合、ダムでの放流(雨天前の事前放流含む)・川の増水・土砂崩れ・倒木による孤立等に対するリスクは、熱中症とは別次元のリスクになるのではと懸念します。 次に、開始時間の21時についてですが、暗くなってから外での設営等の活動は困難なことから、一般的には日没までにコンテストの準備が完了していると思います。日没が遅い西側(沖縄)では9月第3土曜(本年では2020年9月19日)の日没時刻は18時29分なので、全国的に21時までコンテスト開始を待機しているのは時間や発電機の燃料が勿体ないと思います。夕食や最後の機械周りの調整等を考慮しても多くの方は19時にはスタート出来るのではないのでしょうか。 終了時間の15時についてですが、9月第3日曜(本年では2020年9月20日)の日没時刻は日没が早い東側(根室)では17時19分、(札幌・盛岡では17時36分)であり、15時コンテスト終了後、マルチバンドのアンテナを撤収し山間部から人里まで、約2時間で降りてくるには(特にシングルオペでは)厳しいと思います。実際には山影や曇などの影響により、日没時刻の前には既に暗くなるわけですから、安全面からみて15時終了は遅いと思います。 他の理由としては、学校等でFDをクラブ活動一つに取り入れていることもあり、9月の中旬で授業が開始されている中での1泊2日のクラブ活動は、移動の有無にかかわらず参加しにくいと思います。アマチュア無線の今後を考えた場合に、ジュニア世代には参加しやすい環境を残しておくべきではないのでしょうか。 最後ですが、9月後半になるとEスポが期待できず、FDの魅力が半減します。 (降水量比較表あり)		
62	JR8LRQ			○	(1)コンディションについて 9月は50MHzEsは絶望的で、HFハイバンドにおいても国内は短時間しか使えないことが多く、競技性が著しく損なわれると考えます。他のコンテストに割り込むことを避けるためにこの時期を選んだと理由を述べていますが、それは他にコンテストが開催されていないことを意味しておりコンテストを行う時期として不適当であることの証左です。 以上のことから、9月に実施することはコンディション的にふさわしくないと判断します。 (2)気候について 9月は既に台風の時季であり梅雨よりも移動運用の支障になります。また、日没が8月初旬と比較して1時間ほど早くなることから開催時間を案のとおりとすると、主役となる移動局がそれまでに撤収を完了させることが困難になります。		
63	JH5GHM	○ 条件付	HF帯での出力を5Wまでに制限することを条件に可 理由) 想定している日程は1959年から開催で歴史のあるSAC(Scandinavian Activity Contest)と全く同時に開始される。 このコンテストへの影響を考えると同時開催にするならHF帯での出力は5W程度に抑えてHF帯では海外に届かない程度にしないと混乱を招くのではと考える。変更した日程にすでに予定されているコンテストに配慮したルールにすべきと考える。				
64	JA1ASJ	○	フィールドデーコンテストの日程変更:賛成 理由 FDコンテストは、「野外に移動して運用すること」を目的としたコンテストであるので、開催月については、以下の理由により9月への日程変更賛成である。 1 9月の札幌の平均気温は、移動して運用することが可能と思われる気温であること。 2 日照時間が長く、コンテスト後の撤収に問題がないこと。 3 三連休の土日での開催となり、翌日が休日になるため、多くの局が参加しやすいこと。 Esの発生による、VHF帯の異常伝播には期待できないが、総合的に判断して9月開催に賛成である。				

	コールサイン	賛成	理由	反対	理由	その他	理由	
65	JH0OTV			○	フィールドデーコンテストの日程変更: 反対 ・9月開催は、夏休みから外れ、文化祭準備や体育祭などの学校行事やその準備があります。これでは「WAKAMONO」排除にしか思えない。もっと楽しさを伝え、その機会を奪う様な事はしないで欲しい。 ・開始時間については、20時スタートに調整してはどうか。21時に戻しても良い。18時までで設置するのは暑く早すぎる。 ・移動運用とコンテストの魅力を若い人に体験してもらい、通信技術を学ぶ場を改悪して欲しくない。	○	・QRPにシングルバンドを設定希望。50,144,430のVUだけでも良い。安価なハンディ機だけでも参加しやすくして欲しい。	
66	JO7FGZ					○	・9月というと台風を気にする必要があると思いますが、現在は5日間予報があるので事前の決断には時間があるという解釈でしょうか。 ・春先ほどではないとしても、花粉症などで体調を崩す人はいます。8月か9月のどちらかが野外に移動するのにふさわしいかということを考えると難しいところです。	
67	JH2GMK			○	反対。今まで通り8月実施希望。 熱中症対策は各自で管理対応すべき事項。 9月になっても熱中症にかかる人はかかる。 長年実施してきた年中行事を安易に変えるべきでない。			
68	JK2XXK			○	フィールドデーコンテストの9月実施: 反対 (1) 気候を理由とした日程変更は、結局どの日程にしたところで「○×だから適さない」という結論になってしまう。今回のパブリックコメントにしても、気候については自論にとって有利な理由のみを取り上げているのは公平性を欠く姿勢である。なおコンディションを理由とするのなら、フィールドデーにとって9月中旬は、8月上旬よりも劣るのは明らかである。 (2) 前委員長のときに、昨今の気候を理由とした規約変更があった。これにより、参加スタイルに幅ができ、快適な環境でもそれなりに楽しめるようになった。しかし、この変更に関する検証を一切行うことなく再び同一の理由で規約の変更を行うことは、手続き的に問題があると考え。ごく一部の意見に振り回されている印象すらある。 (3) 学生にとって夏休みを活かした課外活動の場としての側面があるのに、この点を一顧だにしない(ように映る)貴委員会の姿勢は甚だ疑問。 (4) もし日程を変更するのであれば、ハムフェアとの入れ替えを提案する。ハムフェアは屋内イベントなので、8月第1週末でも問題はないだろう。 (5) 開催時間帯については、なぜ以前のものに戻すのか貴委員会の見解が述べられていないので保留。ただコンディションや撤収作業を考えると、現行の18時～12時が良いと考える。			
69	JE5JHZ			○	強硬に反対します。 開催日・開催時間が変わってしまうと、それは土俵自体が動いたことに他ならず、過去の同コンテストの記録やレコードの奪取を目標に参加するという側面からすれば、全く意味を持たなくなってしまうので。 気候云々は関係ないと思います。 相応の対策をして望むなり、最悪参加せねば良いだけの話です。	○	できる事なら、以前の21時スタートに戻してほしいです。	